



金森 穣  
Jo Kanamori

1974年東京生まれ。演出振付家。りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館・舞踊部門芸術監督。ダンスカンパニーNoismを率いる。ルードラ・ベジャール・ローザンヌにてモーリス・ベジャールらに師事。ネザーランド・ダンス・シアターII、リヨン・オペラ座バレエ、ヨーテボリ・バレエを経て帰国。2003年2月、初のセルフプロデュース公演「ノマディック・プロジェクト」に対して、第3回朝日舞台芸術賞「舞台芸術賞」、「キリンダンスサポート」をダブル受賞。国内外だけでなく、ヨーテボリ・バレエ、ニュールンベルグ・バレエなど海外カンパニーからの作品委嘱も多い。  
[www.jokanamori.com](http://www.jokanamori.com)



撮影:アーノルド・クロッショット

## 身体表現の可能性を追い求める自由な舞台を自由に観て欲しい。

Noismが目指しているのは、分かりやすくいうと「身体表現」の可能性ということなんですね。コンテンポラリーダンスというカテゴリーは、演劇やダンスといったこれまでのジャンルに囚われないので、いわば何でもありの世界です。何をやっても自由な反面、評価は本質的な部分で良いか悪いかに二分されます。僕らは表現の本質である身体自体の表現を追求していく集団を目指しているんです。

だから、僕らのステージを観てもらうことにルールはありません。身体を使って表現するアートを好奇心ひとつだけ持って、観に来てもらえばそれでいいんです。あとは僕らの舞台=作品をどう感じるかだけです。あえて言うなら、ステージ上で表現するダンサーの身体を自分自身に置き換えて観るのは面白いと思いますよ。人間として同じ身体がどんな可能性を持っているのか。オーバーラップして考えることで、自分自身の身体とそれを司る精神の可能性やあり方に何かを感じ取ってもらうことができるはずです。



撮影:藤山 紀信

### ダンサーとして楽しみながら新しいNoismをお見せします。

今回のTriple Billでは、外部から振付家の方を3名招き、僕自身もひとりのダンサーとして出演します。Noismでは芸術監督として舞台をつくる側にいることが多いのですが、ダンサーとして振付家に使ってもらうことに期待と喜びを感じています。純粋に創る側から演じる側へ自分をスイッチすることを楽しんで、新しい可能性やチャレンジに取り組みたいですね。是非とも舞台に上がる僕たちダンサーが抱く「楽しさ」をより多くの方々と共有したいと思います。同じ空間、同じ時間を共有することで新潟のみなさんとコミュニケーションできたら素晴らしいですね。



05.7.15-17 Noism'05 Triple Bill



2

どのような作品になるかは誰にも分からない。  
これからの時間と経験の積み重ねが作品になってゆく。

**SPECIAL ISSUE Noism 05**

第4回 朝日舞台芸術賞  
「寺山修司賞」受賞  
コントルズ主宰  
振付家・ダンサー  
**近藤良平**

第4回 朝日舞台芸術賞  
「舞台若者賞」  
「キリンダンスサポートグランプリ受賞」  
BATIK主宰  
振付家・ダンサー  
**黒田育世**

ブランクフルトバレエ団出身  
振付家・ダンサー  
**アレッシオ・シルヴェストリ**

貴重な時間を有効に楽しんで  
作品を創りたい。

レベルの高いダンサーたちと無限の可能性  
を求めて楽しめます。

今日は初めてNoismのメンバーの顔を見ましたが、みんなかなりイケメンですね。そして、この素晴らしい環境でダンスできるのはズルすぎますよね(笑)。でも、みんながこれから先、ここに10年もいることもなく、様々な経験を積んでそれぞれ羽ばたいて感じています。さっそく昨日、振り付けをさせていくんでしょうけど、当面の2、3年は創作に対してじっくり取り組むことができる、とてもおいしい時間です。その中にこのTriple Billもあるわけです。この作品が、どのようなものになるかはまだ分かりませんが、これからじっくり掘り下げて、十分に時間をかけて楽しんで作品を創りたいと思います。

まずは、この機会を与えていただいたことに感謝しています。Noismの公演は何度か観たことがあって、今年の1月にもNYのツアーを拝見させていただきました。とてもレベルの高いダンサーたちだと感じています。さっそく昨日、振り付けをさせていただいたのですが、みんな集中力があって、体が効くし、あきらめないし、遊べるし、振り付けすることがとても楽しいです。また、拠点があって、そこで落ち着いて腰を据えて創作活動ができるというのは素晴らしいことです。ダンサーにとっても、それに立ち会える観客にとっても、無限の可能性や機会をもつことが許される状況、できる環境にあると思います。そんな状況に負けないよう、良い作品が創れるようにがんばります。

Noism Triple Bill

7月15(金)19:00-16(土)17:00-17(日)15:00  
会場:いゆーとびの劇場 入場料:¥5,000(学生¥2,500)  
お問合せ:リュートヒョウジダンサーカンパニー専用ダイヤル  
025-224-5521まで

**PRESENT**  
いゆーとびの  
ドーナツプレゼント!

Triple Bill新潟公演にご来場のお客様に、  
本券と引き換えで、ドーナツをプレゼントいたします。下記の簡単なアンケートにお答えの上、劇場ホワイエ特設コーナーへお持ちください。※お一人様1枚限り

アンケート項目  
(いずれかに○を記入してください)

- 性別(男性・女性)
- 年齢  
(10代・20代・30代・40代・50代・60代)
- 新潟でのNoismの公演について  
(初めて観る・2度目・すべて観ている)

3



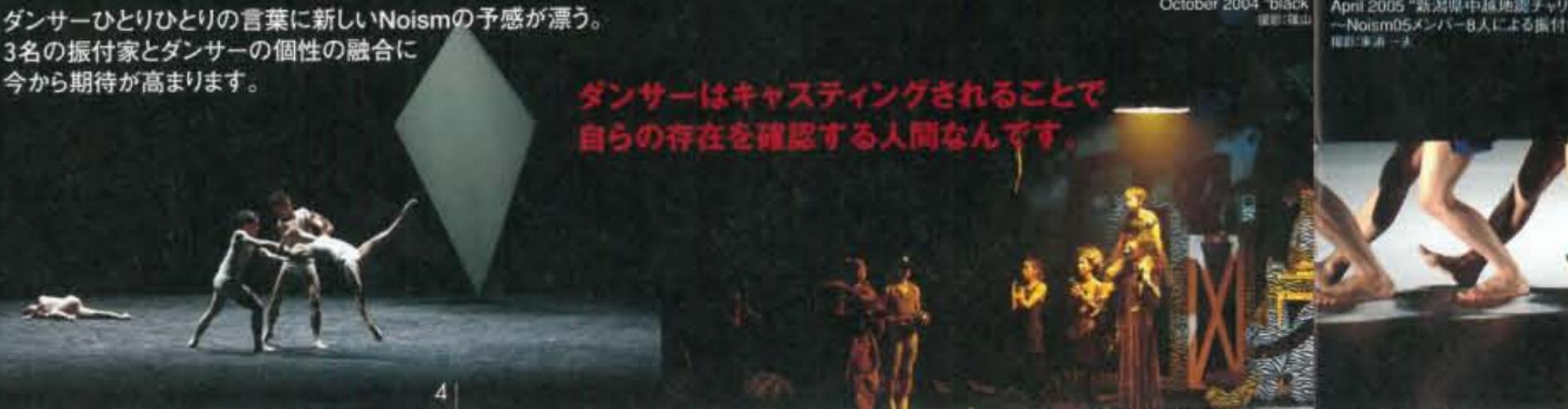
Dancer's Voice  
#1  
青木 尚哉

今度のTriple Billはこれまでとは全てが違う公演です。同じなのはNoismというメンバーだけ。自分というダンサーが新しい振付家を得て何をどう表現できるのか、可能性をさらに追求するチャンスだと考えています。



Dancer's Voice  
#2  
清家 悠圭

Noismに参加して1年。精神的にも成長できたと感じています。今回の新しい舞台は外部の振付家によるものですが、新しいこの機会に、自分の持っている「あやうさ」=不安定の質感を表現したいですね。



Dancer's Voice  
#3  
井関 佐和子

ダンサーはやっぱり舞台に立って成長するものです。ですから今度の新しい手法による舞台はさらに成長できる場だと感じています。目標である色々なことができるダンサーになるためにも絶好の場だと感じています。



Dancer's Voice  
#4  
島地 保武

今回の新しい公演は3名の振付家によるものです。それぞれ個性の強い面白い舞台になるでしょう。今までにない身体の使い方なども取り入れた表現にひとりのダンサーとして興味深く取り組んでいきたいと思います。



# Noism AFTER TALK

Noism

## Noism05と生コミュニケーション ダンサーの素顔に触れるひととき。



2005.4.16

6

4月16日にはりゅーとびあで新潟県中越地震チャリティー公演を開催。公演後にはメンバーがステージに再登場し、興奮さめやらぬ中、観客から寄せられる質問に答えています。舞台後のアフタートーク、観客とNoism05の交流をリポートします。



SPECIAL ISSUE

Noism<sup>05</sup>

## Noism AFTER TALK 語 錄

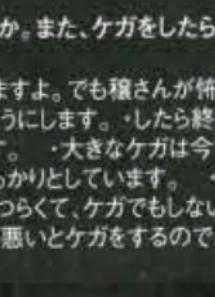
Q 公演の「za-za」の中で、馬が歩いているシーンがありました。あれは何だったんですか。

A あれは妊娠した馬です。普通の人間でもよかったです。インパクトを考えて馬を選びました。生き物には生命が宿るということを表現したかったんです。



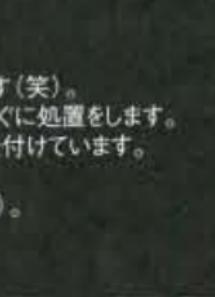
Q ケガはしませんか。また、ケガをしたらどうしますか。

A 普通にケガしますよ。でも穢さんが怖いんで、ケガがバレないようにします(笑)。・ケガをしないようにします。・したら終わりなので、ケガの兆候がでたらすぐに処置をします。・すぐに休みます。・大きなケガは今までしたことありません。日々気付けています。・ストレッチをしっかりしています。・ケガと友だちになります(笑)。・たまに練習がつらくて、ケガでもしないかなって思うけどしませんね(笑)。・体の使い方が悪いとケガをするので、体の使い方を変えます。



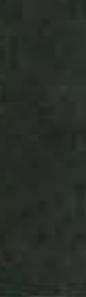
Q メンバーの中で、いちばん年齢が上の人と下の人は、それぞれおいくつですか。

A 上は32歳で下は18歳です。(上は32歳ですが、何か問題でも?)



Q 新潟で好きな食べ物を教えてください。

A 日本酒、とんかつ太郎のカツ丼、安田ヨーグルト、椎園子、のっべ汁、もち豚、東横のラーメン



Q 普段はどのようなところによく出掛けますか。

A カフェ砂場、ささき、清水ファードセンター、イトーヨーカドーの地下、マルホンカウボーイ、とんかつ太郎、湯ったり苑、東横



Q 本番で緊張したときはどうしますか。

A いつも緊張するので、ガツツで乗り切ります。・手のひらに人の字を書きます。・個人的には、適度な緊張はあったほうがいいと思っています。・よく見せようとするから緊張するのであって、自分の成果をそのまま見せようと思えば緊張しないですよ。・まっすぐ前を見つめて深呼吸です。・楽しいことを考えて舞台に出ます。・逆に緊張を楽しんじゃいます。・本番前に空を見ると落ち着きます。・緊張と友だちになります(笑)。



&lt;img alt="A photograph of the Noism members sitting around a table, engaged in conversation during the Q&amp;A session." data-bbox="6510 30 6560

# 日本初!

Noismは、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館専属のレジデンシャル・ダンス・カンパニーとして2004年4月に設立されました。

世界的なダンサーであり演出振付家である金森穰を芸術監督に迎え、新潟から新しいダンスシーンを世界へ発信しています。劇場が1年を通じて所属ダンサーを抱えて運営する「シーズン制のヨーロッパスタイル」はコンテボラリーダンスのジャンルでは日本初の試みとして注目を集めています。

# STORY in Noism

新しいスタイル、新しい展開、新しい存在。

いくつもの可能性に満ちた

りゅーとぴあレジデンシャル・ダンス・カンパニーNoism05。

その創作活動をより深く理解するには、

りゅーとぴあとNoismに生まれた

いくつもの物語を知ることがキーとなります。

## 10の可能性

Noismに所属するダンサーは10名。厳しいオーディションで選ばれています。それぞれが異質のバックボーンを持ち、新しい可能性を求めて表現に取り組んでいるのです。

芸術監督の金森穰は、17歳で渡欧。モーリス・ベジャールらに師事し、ネザーランド・ダンス・シアターⅡ、リヨン・オペラ座バレエ、ヨーテボリ・バレエなどで活躍。2002年に帰国後はセルフプロデュースの「ノマ

## 世界のJO KANAMORI

ディック・プロジェクト」で第3回朝日舞台芸術賞の舞台芸術賞、キリンダンスサポートをダブル受賞など欧州に続き日本でも高い評価を得ています。

ダンスカンパニーの名前である「Noism」は「No·ism」、つまり主義を持たないこと。言い換ればすべての主義を肯定すること

から生まれました。様々なスタイルを自由な感覚でとらえ、新しい主義を生み出す舞台芸術に期待が集まっています。また日本人として古典芸能の抽象性、芸術性を見つめる視点、能ismの意味も含まれています。

Noism! No-ism!

## ダンサーは 新潟市民

Noismのダンサーは新潟市民。新潟に住み、毎朝10時から夕方6までレッスンに取り組み、りゅーとぴあを拠点に活動しています。街ですれ違う人の中にNoismのダンサーがいるかも知れません。

SPECIAL ISSUE  
Noism 05

2004年に設立されたNoismは定期的に作品を発表しています。大胆な挑戦となったSHIKAKU、全国をツアードしたblack ice、そして7月には日本で活躍するトップ振付家とコラボレーションするTriple Bill。次々と新しい可能性を模索する舞台芸術は注目と期待を集めています。

## SHIKAKU、black ice、 そしてTriple Bill

Noism誕生には、いくつものドラマがありました。欧州から帰国したもののダンサーを取り巻く日本の環境に失望し、自らの進退を考えていた金森と、

地方から新しいダンスシーンを世界に向けて発信したいと考えるりゅーと

ぴあが縁あって意気投合。金森は舞台芸術監督就

任の条件として「レ

ジデンシャル・ダン

ス・カンパニー」の立ち上げを提案。その熱意に応えるかたちでNoismが

誕生したのです。後日談でわかった「もし、新潟と出会っていなかったら、

欧州に帰るつもりだった」という金森の言葉が運命を感じさせます。

## JO meets りゅーとぴあ

りゅーとぴあでコンサートやお芝居を見るなら「パートナーショップ」も楽しまなくちゃもったいない! 公演チケットを提示するだけでお得なサービスが受けられます。現在42店舗で実施中! 詳しくは <http://www.ryutopia.or.jp/ps> まで!

Partner Shop



特典  
5%割引

hickory03travelers

新潟市古町通三番町657 TEL.025-228-5739  
11:00~20:00 不定休  
URL <http://www.h03tr.com>



SPOT  
LIGHT.  
Interview

# 茂山千作

狂言師

茂山千作 (しげやませんさく)

狂言方大藏流。1919年12月28日生まれ。父および祖父二世茂山千作に師事。1966年に十二世千五郎を、1994年に四世千作を襲名。1983年芸術選奨文部大臣賞、1998年NHK放送文化賞、2000年朝日賞ほか多数受賞。1985年に紫綬褒章、2000年に文化功労者を受賞。1989年人間国宝認定。1991年日本芸術院会員。

—今、狂言が大ブームですが。

「こんな時代が来るとは思ってもいませんでした。戦争の後はお客様も能狂言を見る余裕がなくなつて、大変に苦しかったです。今は皆さん、たくさんおいでください、ありがとうございます。ですから、いい時も悪いときも一心に稽古して、工夫して、そういう努力を忘れたらあかんということですね」

—戦後は学校を回って演じたとか。

「戦後は古典芸能を見に来てくれる人もあまりなくて、狂言の会も月に1回、生活にも困りました。それで、どないしょかと。考えついたのが、一人でも大勢の方に見てもらうために学校を回りました。良かったらまた見に来てください。その頃、狂言は教科書に出ていましたから、実物をお見せしたらいいんやないかと。いわば出前狂言ですな(笑)。雨天体操場にピンボ

ン台並べたこともあります。たいていザワザワしてますから、大きな声を出しました。それでこんなガラガラ声になったんです(笑)」

—新劇、映画にもお出になりますが。

「そうですね。ほかのお方とやりますと勉強になります。間の取り方、発声、形。『ほかのことしたらあかん、能楽協会から退いてくれ』などと言われたこともありましたけど、私はあえてやりましたんです」

—なかなか頑固なところもありますね。

「頑固やないんですね、ヤンチャですね(笑)」

—お孫さんも狂言師になられましたが。

「一所懸命やってくれてます。これからも精進して、古典芸能、狂言をこの先にも伝えていってもらいたいと思っています。そのためには、一にも二にも稽古です」

—ひ孫さんもお生まれになったとか。

「去年双子のひ孫が出来ましてね、これが初舞台踏むまでだいたい3年くらい。それまで頑張って、一緒に狂言をやりたいと思います」

\*

—7月に新潟にいらっしゃいますが。

「私がやるのは『萩大名』です。好きなんですか、これ。田舎の無骨な、それでいて朗らか。わりと私と似ている。都の萩の庭を歌詠んで褒める。でも歌なんか知らないのであらかじめ太郎冠者に教えてもらって行くんですけど、みな忘れてしもうて大失敗(笑)」



「ひ孫が初舞台に立つまで、あと3年…。  
そんときは一緒に狂言やりたいですな」

—「附子」は教科書にも載ってますね。  
「太郎冠者もので、一休さんのとんち話にも出ています。主人の留守の間に大事なお砂糖をねぶる。食べてしまうということですが、それをおもしろおかしく言い訳するんです」



## 「狂言やろうとしたら、まずしっかりした台詞回し、それからいい格好して舞台で舞う…」

—「鎌腹」はいかがですか。

「恐妻ものです。怠け者、ろくでなしの男で、女房に始終ぶたれたり、やいのやいの言われて働かされてますんで。こんなに働かされるんなら、いっそ死んでしまおうと死のうとするんですけど、どないしても死ねない。で、『もう、やめとこ』というときに女房が、「あんたが死ぬなら私も死ぬ」と、こう言うてね、『ほなら私の代わりに死んでんか』と(笑)」

—狂言には恐妻ものが多いですね。

「怖い奥さんがよく出てきますね。でも、本当はだんなさんにきつう惚れていますんや。惚れてるあまりにやいのやいの言う。どうにかしようと思うて一所懸命なんです。まあ、狂言に出てくる男は、だいたい怠け者なんです。嫁

ください  
お召し上がり  
できただ  
てを

さんがその分しっかりものでね」

—狂言は話も面白いんですが、狂言師の舞なども実にしっかりしていますね。

「能の型からの続きですから、能の仕舞が出来んことにはお話にならない。狂言やろうとしたら、まずしっかりした台詞回し、それからいい格好して舞台で舞う…」

—舞う？ 踊りとは違うのですか。

「舞というのは、舞台をいかにいい格好して美しく歩くかなんです。踊りとは違います。それと狂言師は、謡をちゃんと謡えないといけないんです」

—アクロバット的な動きもありますが。

「とんぼきる(宙返り)とか、仏倒れとか。これは仏像が倒れるみたいに、足伸ばして頭からどーんと真っ直ぐに倒れる。うまく倒れないと頭を打つ。危ないん



もしあったらごまかします(笑)」。  
—子どもの頃はあったんですか。

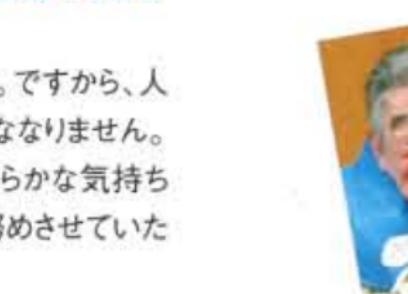
「そら、ありますわ。稽古のとき間違ったら、鏡の間にに入ったとたん、おじいさん(二世千作)がバーンと横面を張りますのや。あとでゆっくり張ってくれたらよろしのに、人の前で恥かかしますんや。『人の前で恥かかして思いっきりきつう叱っておくと一生忘れん』と、人には言うとったそうです。それぐらい厳しくやらされました。今も孫には『阿呆』ちゅなこと言うて叱りますが、打ちはしません」

—人間国宝、文化功労者におなりになっていかがですか。

—失礼ですが、先生は台詞忘れたり、舞台から落ちたりしたことはありますか。

「落ちたことはないけども、朝比奈という狂言をしたときに、面をつけて違うところを歩いていたことがありましたな。劇場でやったときで、橋掛かりは作ったんですけど、その前を歩いとりました(笑)。子どもの頃と違って今は台詞を間違えるということはないですが、ま、

聞き手:阿部聰 撮影:東浦一夫



information  
「茂山狂言公演」  
「薪大名」「附子」「鎌腹」  
2005年7月1日(金)19:00開演  
2日(土)13:30開演  
りゅーとぴあ・能楽堂  
出演/茂山千作・茂山千五郎  
茂山十三郎・茂山正邦  
茂山宗彦・茂山逸平

# IMPRESSION VOICE

## 感動の余韻

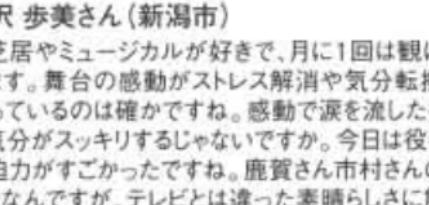
みなさん、どうでした？

ステージからもらえる元気や感動。終演後のオーディエンスたちは満足そうな表情をうかべています。さて、感動の余韻はどんなものか、ちょっとうかがってみました。

### 演劇スタジオキッズコース APRICOT 「お気に召すさま」

2005.4.1(金)劇場

斎藤 智美さん(左)  
姪が出演したので観に来ました。  
みんな演技も歌も上手くて感動しました!



今井 良子さん(右)  
妹が出演しました。  
みんなスゴイがんばっていてよかったです。

匿名希望さん(新潟市)  
自分の好きな人に女性の口説き方を教えるというラブストーリーが子どもながらにとても楽しかったです。舞台のセットはなかったけど、情景が浮かんできて充分楽しめました。

小林 愛佳さん(新潟市)

## 愛している思いが ひしひしと伝わってきた。

匿名希望さん  
小さな役者さんが台詞を自分のものにしていて上手でした。

匿名希望さん(長岡市)  
お代以上の感動があった。若い人の熱意に打たれました。

渡部 司さん(長岡市)  
鹿賀さんが登場して第一声を発した瞬間に  
「スターのオーラ」を感じました。

### 「デモクラシー」

出演／鹿賀丈史、市村正親 ほか  
2005.4.5(火)劇場

中沢 歩美さん(新潟市)  
お芝居やミュージカルが好きで、月に1回は観に来ています。舞台の感動がストレス解消や気分転換に役立っているのは確かですね。感動で涙を流した後などは気分がスッキリするじゃないですか。今日は役者さんの迫力がすごかったです。鹿賀さん市村さんの大ファンなんですが、テレビとは違った素晴らしさに触れて大満足です。



坂井 英里子さん(新潟市)  
公演ポスターにひかれて、久しぶりにお芝居を見たいと思ってりゅーとびあにきました。今回の公演の内容はなかなか難しかったんですが、ベテランの役者さんがそろっていただけあり、力強く素晴らしい演技に圧倒されました。

関谷 唯子さん(長岡市)  
男性の方の緊張と緩和がうまく入り混じった舞台で、とてもおもしろかったです。セリフが流れるように続いていると、場面が次々と切り替わっていくのに驚きましたね。レベルの高さに大満足です。

渡部 司さん(長岡市)  
鹿賀さんが登場して第一声を発した瞬間に  
「スターのオーラ」を感じました。



石橋 早さん  
石橋 美生さん(新潟市)

匿名希望さん

男性ばかりが集まるお芝居は、妙に個性が浮き出て面白かったです。

小塚 里美さん(三条市)

歌わなくとも、踊らなくても、市っちゃん最高!

匿名希望さん(新潟市)

役者さんの気迫が伝わってきて「生」はやっぱりいいなあと実感しました。また機会があったら是非観たいですね。

◆新潟大学管弦楽団の皆さん

部長・笠原 祐樹さん(前列右)

フランス人はカッコいいです。日本人ではああはいかないなと思いました。決まったとおりに演奏しないで、わざとくずして楽しみながらも決めるところはビシッと決めるところは、さすがプロだなと感じました。

佐藤 謙亨さん(後列右から2人目)

奏者が一人ひとり気持ちよく演奏して

おり、自然とその雰囲気の中に入つ

いけました。フランスの音楽を生で聴

いたのは初めてですが、フランスらしさ

を体全体で感じることができ、非常に

満足です。

山本 浩樹さん(前列左)

のびのびと演奏している様子が印象的でした。私も大学でオーケストラをやっていますが、学生とプロの音楽への取り組み方、姿勢の差を垣間見た気がします。

匿名希望さん

目のさめるような音色、バイオリンの高音は今まで聴いたことのない

えもいわれぬ響き。サイコーです!生きていて良かった。

匿名希望さん(加茂市)

オーケストラと指揮者に

惹かれてきました。

フランスの香りがしました。

新潟に来てくれてほんとうにありがとうございました。

とても良かったです!

ご協力ありがとうございました。Thank you♥

Partner Shop

2

特典

昼 アイスサービス

夜 デザートサービス

Tenmi Dining

新潟市学校町通二番町5292-2 朝日ビル1F

11:00~14:00

TEL.025-210-9266

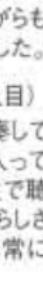
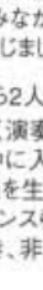
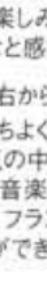
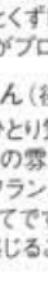
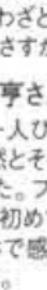
17:00~22:30(ラストオーダー)

日曜定休

りゅーとびあでコンサートやお芝居を見るなら「パートナーシップ」も楽しめなくちゃもったいない!公演チケットを提示する

だけでお得なサービスを受けられます。現在42店舗で実施中!

詳しくは <http://www.ryutopia.or.jp/ps> まで!





# 表現者たち

明日を担うのはキミたちだ!!

演劇スタジオ  
キッズコース

**APRICOT**

前回公演「お気に召すま」

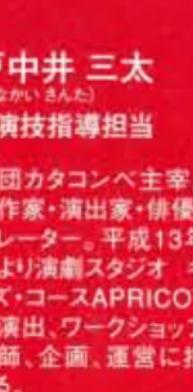
## 小さくて大きい可能性が輝き出す。

“りゅーとびあ”を拠点に活躍するキッズの演劇集団・アプリコットは、今年の秋で結成7周年を迎えます。公演を重ねるごとに評価を高め、ますます注目が集まる中、その魅力に迫ります。



## 年2回の舞台を踏む 演劇集団アプリコット

アプリコットは、“りゅーとびあ”が地域の演劇環境の充実と活性化を目指して創設された演劇スタジオのキッズコースです。もともと子どもの演劇集団を作ろうということから始まり、2000年の初舞台以来、「砂の妖精」「赤毛のアン」「夏の夜の夢」など、これまでにさまざまな公演を重ねてきました。メンバーは現在、小学5年生から高校3年生まで約60名が在籍。年2回の公演を目標に、演劇表現、歌、ダンスなど専門講師による指導のもと、レッスンに取り組んでいます。自主的な活動を目指しているため、子どもたち全員で協力しあい、様々な工夫をしながら楽しい芝居づくりが進められています。



戸中井 三太

(となかいさんた)  
■ 演技指導担当

劇団カタコンベ主宰。劇作家・演出家・俳優・ナレーター。平成13年度より演劇スタジオ キッズ・コースAPRICOT の演出、ワークショップ講師、企画、運営に携わる。



青柳 萌々・小学5年

(あおやぎも)



## 大好きなことを見つけました!

とにかくレッスンが楽しくて大好き。腹式呼吸を習ってから歌も好きになったし、最初は不安だった踊りも覚えられました。本番前の練習はきついけど、公演が終わってアンコールをもらったときはすごくうれしかった。またがんばろうって気持ちになります。

## 演技も自分自身も成長できる場です。

年齢層が幅広いけどみんな仲が良くて、団結力があって、真剣にやるときはやる。だからこそ楽しいし、素敵なハイモニーや、感情を込めた台詞が生まれるんだと思います。演技面だけでなくコミュニケーション力なども成長していると実感しています。



荒井佑紀・高校1年  
(あらいゆき)

## 縁の下の力持ち、 ママたちによるサポートーズ・クラブ。

アプリコット俱楽部では、月1回のニュース発行のほか、公演のチラシ作りや衣装づくり、チケットの販売方法を考えるなど、自分たちができることで子どもたちをサポートしています。精神面もフォローや、内に秘める力を伸ばしてあげることも大切にしたいと思っています。



アプリコット俱楽部代表

栗林 早苗  
(くりばやしさなえ)



The image is a collage of five separate Japanese concert posters arranged in a grid-like fashion. The top-left poster is for 'Ryu' featuring a portrait of a man in a white shirt and black hat. The top-right poster is for 'Yundi Li' featuring a portrait of a young man in sunglasses. The middle row left poster is for '加古 隆' (Koga Takao) featuring a portrait of a man in a white shirt. The middle row right poster is for 'Ayako Uehara' featuring a portrait of a woman in a white dress. The bottom row left poster is for '12月13日(火)' (December 13th, Tuesday) featuring a portrait of a man in a suit. Each poster includes text details about the performer, date, time, and ticket prices.

The image is a collage of five separate promotional posters arranged side-by-side:

- ピアノシリーズ ●**: A portrait of a young man (Takeshi Kakehashi) in a dark suit.
- 写真一時代の目撃者 地球を生きる子どもたち**: A poster featuring a photograph of two children in a classroom setting. Text includes "写真でみる 150年" (Viewed through 150 photos), "ロバート・キャバ、沢田教一、土門拳ら 世界の写真家が撮影した「時代の瞬間」" (Robert Capa, Seiji Saito, Tomo Ueda, etc.瞬間 captured by world photographers), and performance details: "7/2(土)~9/4(日)" (July 2nd to September 4th), "新潟県立万代島美術館" (Niigata Prefectural Bando Island Museum of Art), "チケット発売中" (Tickets on sale), "入場料 一般 大・高校生 小・中学生" (Admission fees: General, Senior High School Students, Elementary/Middle School Students), "当日券 800円 500円 300円" (Same-day tickets: 800 yen, 500 yen, 300 yen), and "前売券 600円" (Advance ticket: 600 yen).
- 新イタリア合奏団 & 高木綾子(フルート)**: A poster for a flute concert featuring the New Italian Chamber Ensemble and Eriko Takagi. It includes "6月30日(木) 19:00開演" (Performance on June 30th at 19:00), "S席 5,000円 / A席 4,000円" (S席 5,000 yen / A席 4,000 yen), "会場:りゅーとびあ コンサートホール" (Venue: Ryūtobiā Concert Hall), "特別協賛:総合人材サービス AVOC" (Special Sponsor: Comprehensive Human Resources Service AVOC), and "絶賛発売中" (On sale now).
- 宝塚歌劇星組公演**: A poster for the Star Company of the Takarazuka Musical Theater. It lists "10月8日(土)" (October 8th, Saturday) and "10月9日(日)" (October 9th, Sunday). Details include "昼の部/14:00 夜の部/18:00開演" (Daytime performance at 14:00, Evening performance at 18:00), "会場:新潟県民会館" (Venue: Niigata Prefectural Gymnasium), and "7月上旬発売予定" (On sale in early July).
- 華麗なるタンゴの調べ マランド楽団**: A poster for the Manland Tango Orchestra. It features a photograph of a couple dancing tango. Text includes "10月7日(金) 19:00開演" (Performance on October 7th, Friday at 19:00), "全席指定:5,800円" (General admission: 5,800 yen), "会場:りゅーとびあ コンサートホール" (Venue: Ryūtobiā Concert Hall), "6/18(土) 発売" (On sale on June 18th, Saturday), "曲目:オレ・グッパ、バラのタンゴ、川の流れのように ほか" (Performances: Ola Goppa, Tango de la Rosa, Like the Flow of the River, etc.), and "MALANDO" (The name of the orchestra).